



ニュージーランド クライストチャーチ

ヤーチ



New Zealand

ヨーロッパの香り漂う
美しい花と緑の町
ガーデンシティを訪ねて。

丸八真綿の人気シリーズ「ファートン」には欠かせない上質な天然ラムファー（子羊の毛皮）。そのルーツは、日本から遠く離れたニュージーランド南島最大の都市クライストチャーチにあります。

日本から飛行機で約11時間。丸八グループのラムファー加工工場 G.L. ポーロン社のあるこの街は、「ガーデンシティ」の名で親しまれる美しい街。その名の通り四季折々に色とりどりの花と緑が街を彩り、訪れる人々の目を楽しませてくれます。ニュージーランドのなかでもイギ

リス入植時代の名残を色濃く残す街としても知られ、ヨーロッパの風情漂うロマンチックな街並も魅力の一つです。

そんな美しい街が震災に襲われたのは2011年2月のこと。東北地方太平洋沖地震が起こる数週間前のことでした。現地スタッフによれば街はいま少しずつですが確実に復興の歩を踏み出しているそうです。再び街に笑顔と活気を取り戻せる日まで「ともに乗り越えましょう」と、あたたかいメッセージも届きました。



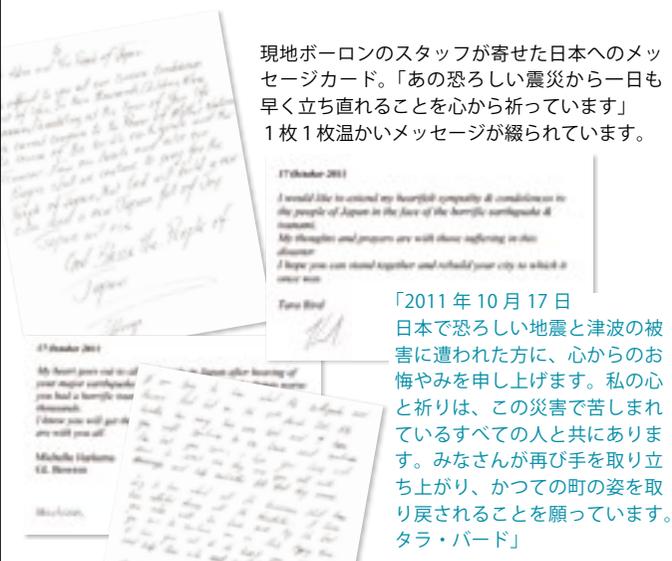
震災を乗り越えて、
いま再び美しい花を咲かせるために。



街のシンボルだったクライストチャーチ大聖堂。地震により倒壊し、いまは再建を検討中。写真は倒壊前のもの。



ムートンを販売する丸八グループの G.L. ポーロン社。創業1872年というニュージーランドでも老舗の羊毛皮加工を手がける会社です。工場内はいつも笑顔の絶えない明るいムード。熟練のスタッフはみな「うちのファーに敵うものは世界中探してもないはずさ！」と誇らしげに胸を張ります。



現地ポーロンのスタッフが寄せた日本へのメッセージカード。「あの恐ろしい震災から一日も早く立ち直れることを心から祈っています」1枚1枚温かいメッセージが綴られています。

「2011年10月17日
日本で恐ろしい地震と津波の被害に遭われた方に、心からのお悔やみを申し上げます。私の心と祈りは、この災害で苦しんでいるすべての人と共にあります。みなさんが再び手を取り立ち上がり、かつての町の姿を取り戻されることを願っています。
タラ・バード」